

Ⅱ. 新人看護職員研修内容に関すること

1. 研修期間 (7)か月

2. 研修プログラム

時期 (月) ※1	医療機関受入研修の対象 としている研修 ※2	研修テーマ	形式※3 (該当項目に○を付けて下さい。)		研修場所 (※4)		時間数 / 日数	研修内容
			講義	演習				
4月	○ ○ ○ ○ ○	基本姿勢と態度 安全管理 情報管理 感染管理 与薬技術	○ ○ ○ ○ ○	○	部署外	講義室	52/ 7日	接遇 看護倫理 個人情報保護 医療安全対策 職員安全衛生 設備防災安全 記録について 看護必要度について スタンダードプリコーション 点滴管理 静脈注射 採血 筋肉注射 皮下注射
5月	○ ○ ○	心電図 救急処置 安全な看護	○ ○ ○	○ ○ ○	部署外	講義室	12/ 3日	心電図の読み方 12誘導 急変時の対応 AEDの使用法 BLS 抗癌剤・麻薬・劇薬の取り扱い 輸血血液製剤の取り扱い
6月	○	看護技術 ローテーション研修	○	○ ○	部署外	他部署	168/ 22日	多重課題 外来、OP、ICU、内科系・外科系病棟を2週間ずつ体験する
7月	○	創傷管理 ローテーション研修	○	○ ○	部署外	研修室 他部署	116/ 15日	スキンケア 褥瘡予防 リスクアセスメント 外来、OP、ICU、内科系・外科系病棟を2週間ずつ体験する
8月	○	自己管理	○	○	部署外	講義室	4/ 1日	ストレスマネジメント
9月		フォローアップ研修	○	○	部署外	講義室	8/ 1日	接遇、ビジネスマナーの基本動作の振り返り セルフマネジメント、人間関係力の向上
10月	○	看護技術	○	○	部署外	研修室	24/ 6日	高機能シミュレーターを使用した看護技術演習

※1 時期には実施月をご記入ください。

※2 医療機関受入研修として公開している研修に○印を記入して下さい。

※3 形式には講義・演習の当てはまる方に○印を記入して下さい。両方に○印を記入しても差し支えありません。

※4 新人自身が所属する部署の場合「部署内」、自身の所属する部署以外の場合「部署外」と記入して、さらに、具体的な場所を記入して下さい。

※5 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

3. 研修の指導体制の詳細(各看護単位、看護部門)

各看護単位には実地指導者と教育担当者が1名ずつおり、新人のOJTに関わっている。ローテーション研修でも、実地指導者と教育担当者が主に他部署の新人の指導にあっている。
集合研修では、新人の教育担当者が中心となり指導を行っている。

4. 医療機関受入研修内容の周知方法・時期など

兵庫県看護協会のホームページと、自施設のホームページに研修内容を掲載している。
近隣の医療機関には、3月頃個別に募集の案内文を送付している。案内は、近隣の100床前後の病院を対象とし、新人の採用が多く研修体制が十分整っている病院は対象外としている。

5. 医療機関受入施設数(※今年度中の予定も含めて、ご記入ください) (5)施設
6. 医療機関受入研修の受入可能人数(実人員) (10)名
7. 医療機関受入研修の受入人数(実人員)
(※今年度中の予定も含めて、ご記入下さい) (10)名

Ⅲ. 新人看護職員の到達度等の評価に関すること

1. 評価方法（医療機関受入研修に参加している医療機関へのフィードバックも含めて、自由にご記入ください）

研修後の評価は無記名でのアンケートを行っており、他施設への個別の評価報告は行っていない。
今後、フィードバックの方法について検討することが課題である。
自施設の新人に関しては、学習ハンドブックでの定期的な評価を行い、研修の中でその都度フィードバックを行っている。

Ⅳ. 事業の評価等に関すること

1. 医療機関受入研修の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

他施設からの受講生の負担にならないよう、研修時間を可能な限り午後に設定した。

2. 医療機関受入研修の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

今年度の自施設の新人は2名と少人数のため研修効果が不十分だと思われたが、他施設からの受講生を受け入れたことで受講生同士の刺激になり、研修の効果に反映されたと考える。